

2017年（平成29年）11月3日（金曜日）

東北中央道金山区間
早期事業化など要望
政府、与党に同盟会
新庄・湯沢地域間高規格
幹線道路建設促進同盟会
（会長・鈴木洋金山町長）
が2日、政府、与党に対し、
東北中央自動車道新庄―湯



沢間でまだ事業化されていない金山町区間の早期事業化などを要望した。自民党本部には鈴木会長をはじめ、加藤正美大蔵村

長、元木洋介鮭川村長らが訪れ、岸田文雄政調会長に要望書を手渡した。写真。要望したのは他に関連予算の確保、既に着手されている区間の事業推進など。岸田政調会長は「雪の多い山形県の道路整備の重要性は認識している。前向きに考えるべき課題だ。多方面と協力して結果を出せるようにしたい」と応じた。鈴木会長は要望後、取材に対し「豪雪地域であり、冬場の交通の安全を確保できるようぜひお願いしたい」と話した。要望は秋田県側の期成同盟会と連名で行った。